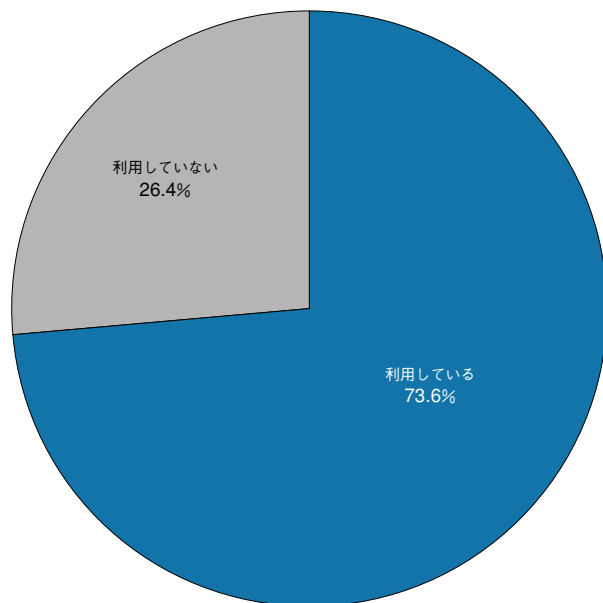


## 情報サービス

### 携帯電話による情報サービスの利用は7割超える

資料3-3-1 携帯電話による情報サービスの利用有無 N=2,000

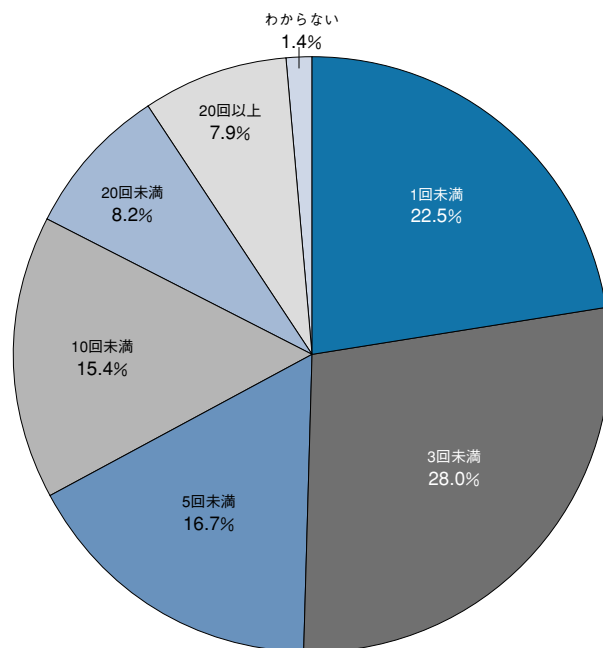


©impress, 2004

携帯電話による情報サービスは「利用している」が73.6%と7割を超える。しかし、後述する調査結果から明らかなように、ポケット定額サービス利用者を除き、情報を閲覧するのにもポケット料がかかるため、ライトユーザーが半数を占める(資料3-3-2)。コンテンツ料金のほかポケット料がかかり意外と高くてしまう有料サービスの利用者は4割強(資料3-3-3)。うち大多数が着メロサービスの利用にとどまる(資料3-3-6)。

### 情報サービスの利用は、週2回までのライトユーザーが5割

資料3-3-2 情報サービスの1週間当たりの利用頻度 N=1,472



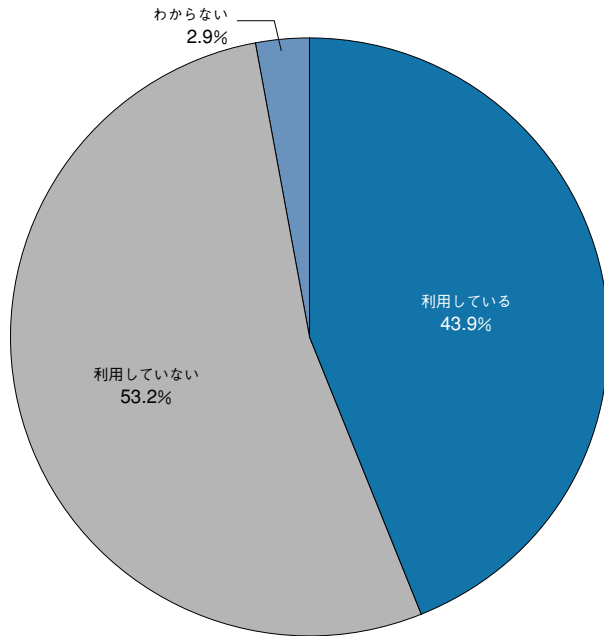
©impress, 2004

情報サービスの1週間当たりの利用頻度は「1回未満」が22.5%、「3回未満」が28.0%で、情報サービス利用者のうち、週2回までしか利用しないライトユーザーが50.5%を占める。一方で、10回以上利用するユーザーも16.1%と少なくない割合を占めており、普及とともに利用者の用途により使い方に幅が出てきていることが読み取れる。

情報サービス

有料サービスの利用者は4割強と、半数を割る

資料3-3-3 有料情報サービスの利用有無 N=1,472

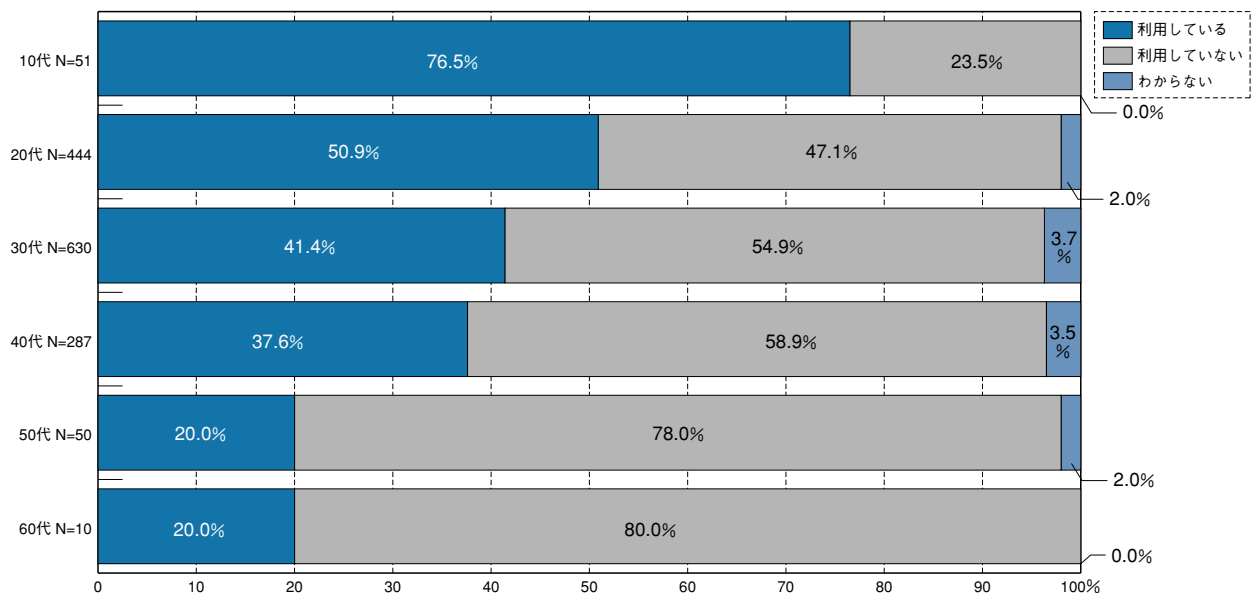


情報サービス利用者のうち、有料サービス利用者は43.9%と半数を割った。有料サービスを契約すると利用しなくても月々の料金がかかること、情報利用料のほかパケット通信料が別途かかることなどが有料サービス利用の敷居を高くしていると考えられる。

©impress, 2004

有料サービスも積極的に利用する若年層と、消極的な中高年齢層

資料3-3-4 年代別 有料情報サービスの利用有無



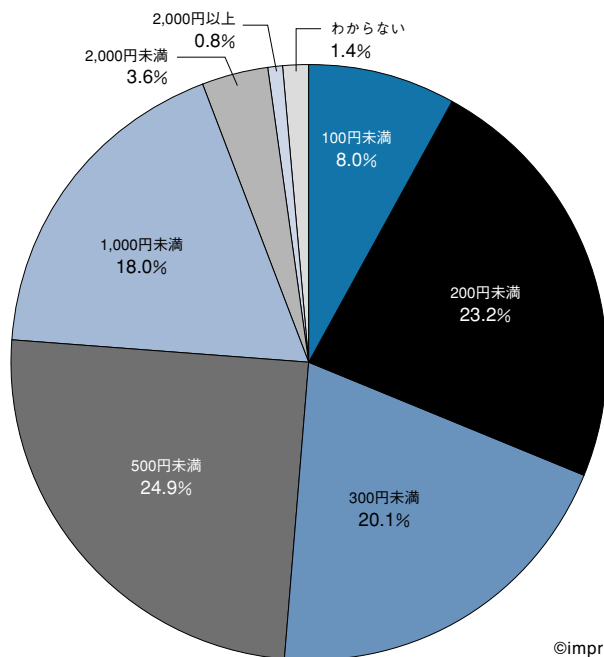
©impress, 2004

年代別に見ると、若年層ほど有料サービスを積極的に利用していることがわかる。20代以下では「利用している」が半数を超える一方、50代以上では有料サービス利用者は2割に止まる。通話料金とパケット料金でどちらが高いかという調査ときれいに符合する結果となっており、通話以外のサービスを積極的に利用する若年層と、消極的な中高年齢層という傾向がここでも見て取れる。

## 情報サービス

### 1か月の有料情報サービス料は半数以上が「300円未満」

資料3-3-5 1か月当たりの有料情報サービスの支払い金額 N=646



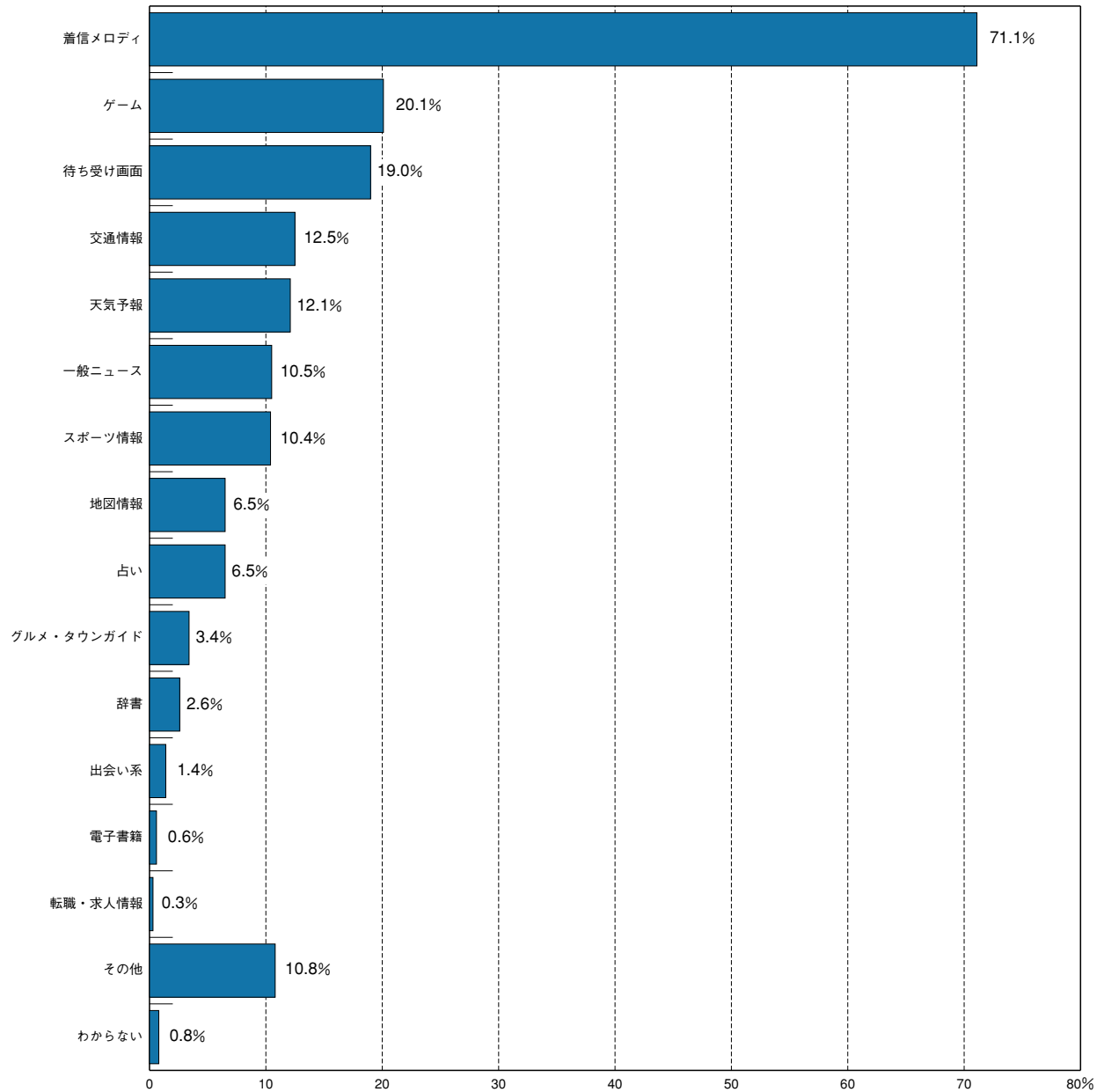
©impress, 2004

1か月当たりの有料情報サービスの支払い金額は300円未満という利用者が合計51.3%と5割を超える。1,000円を超える利用者はわずか4.4%。実際には、情報サービス料のほかパケット通信料がかかるため（パケット定額サービスを利用している場合は除く）、実際は情報サービス料だけで済まない点が、利用者を慎重にさせていると考えられる。

情報サービス

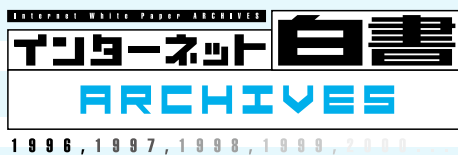
利用している有料情報サービスは圧倒的に「着メロ」

資料3-3-6 利用している有料情報サービスのジャンル N=646



利用している有料情報サービスでは、「着メロディ」は71.1%と約7割が利用。続いてゲームが20.1%と続く。待ち受け画面については19.0%と、依然として多くのユーザーが利用しているものの、高画質のデジタルカメラが携帯電話に搭載され、待ち受け画面も自分で撮影した画像を設定することが多くなった影響で、利用者は漸減傾向にある。

©impress, 2004



## [インターネット白書 ARCHIVES] ご利用上の注意

このファイルは、株式会社インプレスR&Dが1996年～2012年までに発行したインターネットの年鑑『インターネット白書』の誌面をPDF化し、「インターネット白書 ARCHIVES」として以下のウェブサイトで公開しているものです。

<http://IWParchives.jp/>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、データ、URL、名称など)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真・図の作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は掲載されていない場合があります。
- このファイルの内容を改変したり、商用目的として再利用したりすることはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用される際は、出典として媒体名および年号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレスR&D)などの情報をご明記ください。
- オリジナルの発行時点では、株式会社インプレスR&D(初期は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めました。すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接および間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

お問い合わせ先

株式会社インプレス R&D

✉ [iwp-info@impress.co.jp](mailto:iwp-info@impress.co.jp)